

■活用事例：目次

1. ナチュラルブレスト株式会社（福岡県福岡市）	19
2. 楽しい株式会社（福岡県北九州市）	20
3. 株式会社フカノ楽器店（福岡県福岡市）	21
4. 芙蓉ディベロップメント株式会社（福岡県福岡市）	22
5. 株式会社ヴィンテージ（福岡県北九州市）	23
6. 株式会社ジウン（福岡県福岡市）	24
7. 株式会社diffeasy（福岡県福岡市）	25
8. 粕谷製網株式会社（長崎県諫早市）	26
9. 株式会社エコ・プラン（長崎県長崎市）	27
10. 有限会社坂本石灰工業所（熊本県玉名市）	28
11. 株式会社くまもと健康支援研究所（熊本県熊本市）	29
12. 九州ナノテック光学株式会社（大分県日出町）	30
13. 株式会社オフサポート（宮崎県宮崎市）	31
14. 株式会社南九州デジタル（鹿児島県鹿児島市）	32



粘着剤ゲルコアで装着する人工乳房の 開発と事業化

認定
日

平成27年7月10日

事業分類

小売

テーマ分類

美容

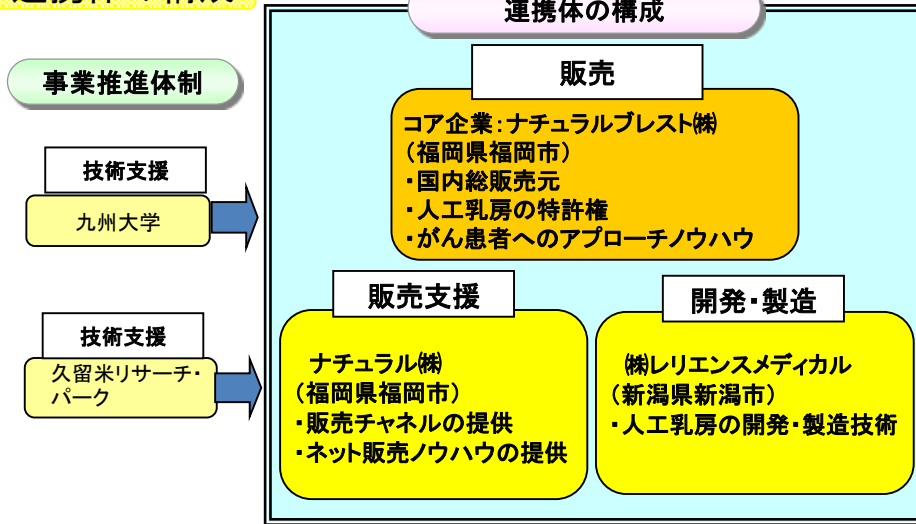
地域

福岡県福岡市

事業概要

- ・本事業は、乳がん治療の乳房切除手術等で、乳房を失った患者に対し、オーダーメイド感覚の高品質な人工乳房をレディメイドで、低価格で、素早く・安易に提供する事業である。
- ・肌との接触面に、新素材の粘着剤（ゲルコア）を使用することで、日常では、接着剤を必要とせず、しっかり密着し、簡単に外せて、容易に位置決めできることを特徴とする人工乳房である。
- ・3タイプの形、4色のバリエーション、左右2パターンの24種類のレディメイド販売により、全商品158,000円の低価格で購入できる。3Dデータから型を成形するオーダーメイドも開発予定である。
- ・全国のフィッティングサロンの個室で、女性スタッフにより、気兼ねなく、実際に見て触って試着して、購入できる。
- ・年間6万人の乳がん発症者数の内、乳房全摘出手術を受け、乳房再建手術を受けない患者は、16,800人で、その内約1万人が販売対象と推定。

連携体の構成



事業の成果および今後の展開

- 3D技術による3Dプリンターにて人工乳房の型づくりを日本で初めて完成させた。
- テレビなどに取り上げられ認知度も高まり、平成30年度6月決算期には年間300個ほどの販売を達成した。
- 売上高のアップに伴い、新たに5名（製造4名、営業事務1名）を雇用した。
- 日本にしかない商品なので海外からの引き合いが強く、中国成都市の企業と代理店契約を締結した。現在は、上海の医療系企業と代理店契約の交渉中である。
- JTBと医療ツーリズムの契約を平成30年3月に締結。中国と韓国を中心に海外からのユーザーに対して、旅行と合わせたサービスを実施している。

【補助金活用】ものづくり補助金（平成26年度補正）



【3D設計】



【人工乳房】

ナチュラルブレスト株式会社

代表者：本田 幸恵 住所：福岡市博多区住吉3-1-18-507

電話：092-292-3883

URL：https://www.naturalbreast.co.jp/



民設民営（PFI）方式地方自治体向け 食品廃棄物地域循環圏形成サービス事業

認定
日

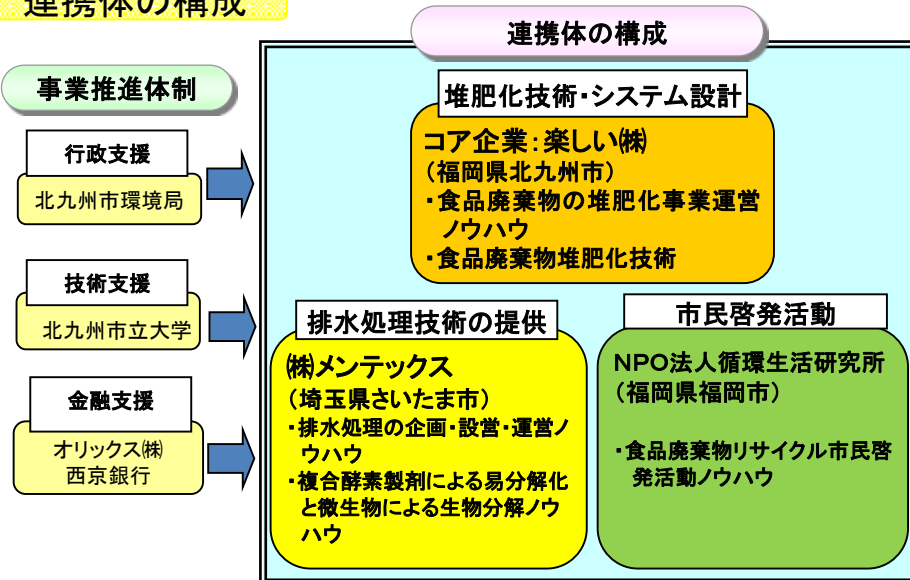
平成28年2月3日

事業分類	サービス (廃棄物処理業)	テーマ分類	リサイクル	地域	福岡県北九州市
------	------------------	-------	-------	----	---------

事業概要

- ・本事業は、食品廃棄物のリサイクルループ形成に必要なノウハウとサービスを包括的に提供する、民設民営（PFI）方式による自治体向け一括サービス事業である。具体的には、一般食品廃棄物をパッカー車で収集し、小規模リサイクルセンターにて完熟堆肥化を行い、近郊の農家で、その堆肥を利用して農作物の生産を行うリサイクルループを形成する。
- ・導入する自治体は、従来の焼却処理に比べて、初期投資を必要とせずに大幅なコストダウンとCO2を削減することができる。また、焼却施設と連携した横展開を行うことにより、多面的に有効な施策を構築することができる。
- ・「北九州市と近郊地域における食品廃棄物地域循環圏事業化計画策定事業」の採択を受け、北九州エコタウン内において、平成27年7月よりモデル事業を実施中。

連携体の構成



事業の成果および今後の展開

- 自社にて開発した技術を基に、食品廃棄物（及び食品廃棄物脱離液）の分解（還元）装置の試作装置を完成させた。従来の処理に比べて処理工程の効率化、また微生物の投入実証検査により、含水率を含め1次発酵物の質の向上をはかることが出来た。
 - 連携体と協力し、自治体等への市場調査、民設民営方式の契約やサービス内容の整備、付帯サービス（市民啓発・食育環境教育・土壌分析・野菜機能性分析等）の整備を行い「民設民営（PFI）方式地方自治体向け食品廃棄物地域循環圏形成サービス」を完成させ、自治体が取組むモデルケースとして確立することができた。
 - ターゲットの反応調査を実施し、回答のあった自治体に対し積極的に販路開拓を行った。自治体をはじめ自治体が管轄する卸売市場や市場外の工場などへ営業活動を展開した結果、21件の成約に結びつき、現在、売上高1億3千万円程計上することができた。
- 【補助金活用】新連携補助金（平成28～29年度）



【地域循環圏リサイクルセンター】



【試作装置】

楽しい株式会社

代表者：松尾 康志

住所：福岡県北九州市若松区向洋町10番1

電話：093-752-5300

URL：www.fun-c.jp

2013年 第3回北九州オンリーワン企業（特別賞）選定

2015年 北九州エコプレミアムいち押しエコプレミアム選定



「ミュージックフープ」を活用した新たな高齢者介護予防事業の展開 “認知症予防から健康促進へ”

認定
日

平成28年2月3日

事業分類

サービス
(その他の教育、学習支援業)

テーマ分類

健康・福祉

地域

福岡県福岡市

事業概要

- ・高齢者の介護・認知症予防を目的とした2007年からの介護予防トライアル初期から、当社は音楽介護予防プログラムを市町村へ提供しており、介護認定率の低下や介護給付費の低減に貢献してきた。
- ・今回、新たに運動補助具と楽器を兼ねた「ミュージックフープ」を取り入れ、その運動効果を九州大学と解明することで、高齢者の脳の活性化と共に健康促進を図る新たな介護予防プログラムを開発した。
- ・介護・認知症予防に加え健康促進を図るプログラムを地方行政や介護施設へ提供すると共に、健康機器としてミュージックフープの販売促進を図り、5年後に1.46億円、累計で4.5億円の販売を目指す。

連携体の構成

事業推進体制

- 技術支援**
九州大学病院リハビリテーション部
- 事業支援**
福岡県中小企業団体中央会
市町村の厚生課
- 経営支援**
福岡銀行・福岡信金
政策金融公庫
- 販売支援**
教室事業委託先
認定インストラクター
普及指導員

連携体の構成

企画・開発・販売

コア企業：(株)フカノ楽器店
(福岡県福岡市)
・予防介護開発
・予防介護教室運営
・予防介護ツール販売

ミュージックフープ製造

大昌産業(株)
(愛知県名古屋市)
・ミュージックフープ製造
・機器メンテナンス

教育プログラム開発

(有)健康ネットワーク
(福岡県福岡市)
・講座プログラム開発
・テキスト作成
・インストラクター育成

事業の成果および今後の展開

- 高齢者、音楽介護予防プログラムを基に、運動補助具と楽器を兼ねた当社オリジナル商品「ミュージックフープ」を取り入れ、音楽・運動介護予防プログラムを新たに開発し、行政の介護予防事業を展開。
 - 音楽・運動介護予防事業を市町村等へ展開した結果、29市町村から業務受託し、年間売上高5,000万円程計上することができた。
 - 音楽・運動介護予防事業を積極的に販路開拓を行った結果、受注増加となり指導講師を新たに20名採用した。
 - 当社の音楽・運動介護予防事業は、行政主催の介護予防教室の普及に寄与し、平成30年度は4万人の高齢者が当社プログラムを受講していただき「健康寿命の延伸」に貢献することができた。
 - 平成30年度までは、福岡県・佐賀県の市町村にて予防事業を展開してきたが、平成31年度からは熊本県にてフランチャイズ展開が決定、更なる事業拡大が見込まれる。
- 【補助金活用】ものづくり補助金（平成28年度）



【公民館での音楽・運動介護予防教室の様子】

株式会社フカノ楽器店

代表者：藤田 和博

住所：福岡市南区井尻4丁目2-51

電話：092-501-4056

URL：<http://www.fukanogakki.com>

2016年6月 第3回「ヘルスケア産業づくり貢献大賞」九州経済産業局長賞受賞

2017年6月 平成29年度「九州ニュービジネス大賞」優秀賞受賞



高齢者医療の質を向上する テレケアシステムの開発と販売

認定日

平成28年2月3日

事業分類

製造
(電気・情報機器)

テーマ分類

健康・福祉

地域

福岡県福岡市

事業概要

- ・2014年に医療介護総合確保推進法が成立し、医療の大改革が行われた。その結果、介護施設に入居する重症患者が増加しているが、それを支える在宅医療体制は十分ではない。そこで、コア企業は体温、血圧等のバイタルデータを自動で取り込み、高齢者の健康状態の変化をいち早く検知し、医師が診断しやすい表にグラフ化するテレケア（在宅医療）システムを開発。
- ・本事業では、当該システムを組み込んだ情報機器（商品名「安心ネット」）を販売する。また、診断情報などアフターフォローも実施する。
- ・診断記録に基づき医療機関が利用者別に設定を行うことで、医師不在の介護施設でも、入院と同レベルの健康管理と病理判断支援が可能となり、在宅医療の質を均一的かつ飛躍的に向上することができる。
- ・①健康診断等の基礎データや問診・観察データと組み合わせる点、②バイタルの平均値の出し方を工夫し検知精度を高めた点、③3年以上の実証試験による実績を有する点④医学統計学を用い検証し評価する点などが特徴である。

連携体の構成

事業推進体制

技術支援

長崎大学本田教授

開発支援

(医)和陽会
(特非)医療福祉クラウド協会
(株)さくらコミュニティサービス等

連携体の構成

企画・開発・販売・保守

コア企業：芙蓉ディベロップメント㈱
(福岡県福岡市)
・事業全体の企画・推進
・知的財産権の保有
・販売促進
・アフターサービスの提供

設計・開発・臨床

(医)芙蓉会
(福岡県大野城市)
・システム企画及び開発
・実証試験の実施

開発・製造

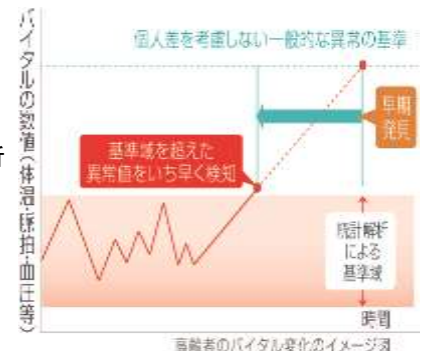
㈱未来ケアデザイン
(福岡県直方市)
・システム開発
・製造
・販売

事業の成果および今後の展開

- 開発したA Iバイタル異常値検知技術を基に、試作開発を3年行った結果、紙記録に勝る簡便さと速さを持つU I 開発に課題がでたが、改良を重ねて、「安心ネット カイゴ」という商品を完成させた。
 - モニター販売として医療・介護業界などへ直販した結果、5件の成約に結びつき、現在、売上2,300万円程計上することができている。
 - フクダ電子が11月より全国で販売代理を行う。また、コア技術のA P I は電子カルテ・介護ソフト・住宅・医療情報端末・医療ベッドとの連携の引き合いの話がっており新たな取引先の獲得が期待できる。
 - 「肺炎の医療介入へのカットオフ」は、陽性的中率75%、特異度93%と良好な結果を出し、心不全の入院期間短縮も示唆された。
 - A I バイタル異常値検知技術がNHK・日経新聞・日経ヘルスケア等に取り上げられ、重症化予防のエビデンスを学会発表している。
- 【補助金活用】新連携補助金（平成28～29年度）



【入居者の健康情報を入力し、整理・分析して状態悪化を早期発見するICT健康管理システム】



【A I 異常値検知による早期発見の仕組み】

芙蓉ディベロップメント株式会社

代表者：前田 俊輔

住所：福岡県福岡市博多区山王1-10-29

電話：092-452-0588

URL：http://www.anshinnet.net/

平成29年度厚生労働科学研究「ICT基盤構築AI実装研究事業」採択



診療報酬加算計算・管理システム「iMedy（アイメディ）」の運用サービスの開発・事業化

認定日

平成29年6月9日

事業分類

サービス

テーマ分類

IT

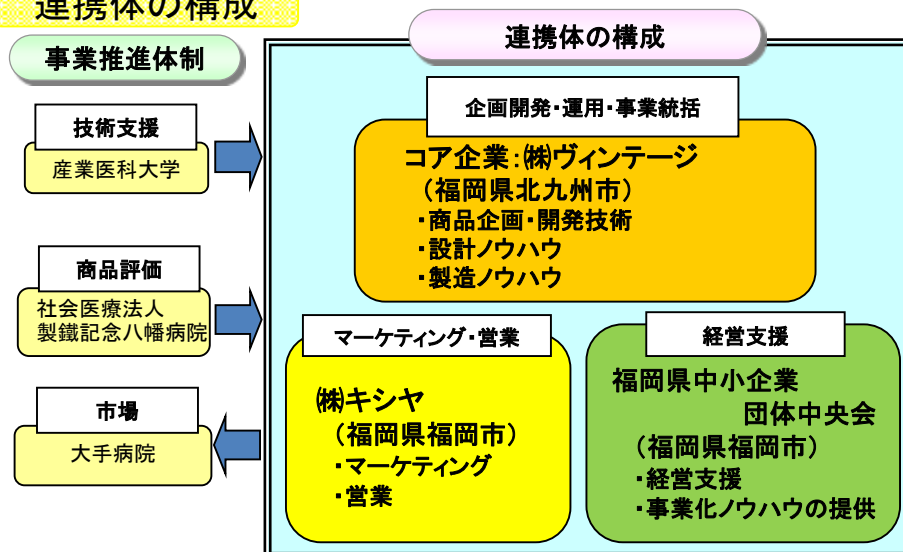
地域

福岡県北九州市

事業概要

- ・本事業は、診療報酬加算計算・管理システム「iMedy（アイメディ）」の運用サービスの開発・事業化を目指すものである。
- ・医療機関に強いネットワークを持つ株式会社キシヤと連携し、サービス開始当初は、地場福岡県中心に普及を図る。
- ・既に社会医療法人製鉄記念八幡病院と監修協力契約締結の上、2016年12月に実証機を導入済、実際にテスト稼働している。
- ・診療報酬の「加算部分」の試算に特化し、実現したソフトウェアは他になく、新規性がある。
- ・5年目で累計導入病院数80件、売上高 100,800千円を目指す。

連携体の構成



事業の成果および今後の展開

- 平成30年10月発売以降、九州を中心に約50件の個別訪問デモンストレーションを実施し、商談へ展開中。スムーズに営業活動やマーケティングが進んでいる。
- プレスリリース、HPの充実、WEB広告、大都市での展示会、商談会開催など自社主体の営業活動も積極的に展開。全国の医療機関よりお問い合わせを多数頂いており、顧客の本サービスへの関心の高さが伺え、今後、導入実績の拡大が期待できる。
- 大規模病院、グループ病院からの問い合わせが多く、発売後1か月で見積りを約20件の病院に提出し、1件成約に至っている。
- 現在、商談会開催エリアの拡大やグループ病院へのアプローチ方法、関連システムとの連携などを検討中。来春には新機能およびオプション機能公開を予定。

【補助金活用】新連携補助金（平成30年度）



【展示会出展ブース】



【第13回アジアメディカルショー2018】

株式会社ヴィンテージ

代表者：郷田 和正

住 所：福岡県北九州市小倉北区浅野3-8-1 AIMビル7F

電 話：093-513-7255

URL：https://vintage.ne.jp/



医療画像管理システムPACSの シェアードサービスの開発及び事業化

認定
日

平成29年6月9日

事業分類

サービス

テーマ分類

IT

地域

福岡県福岡市

事業概要

- ・本事業では、中小病院・クリニックに対し、パブリッククラウド環境で医療画像管理システムPACSのシェアードサービスを安価に提供し病診・病病連携の実現を可能とするものである。
- ・本事業で提供するサービスは、従前のクラウドサービスとは異なる、オンラインでのPACS機能の提供である。提供されるサービスの費用も月額15,000円を予定しており、設備投資に躊躇する医療機関にとっては大きなメリットがある。
- ・本事業のターゲットとする市場規模は、350億円～450億円以上とされ、特に中小病院・クリニックでの拡販を企画し、平成33年度において総クリニック数100,000施設の2%である2,000施設へのサービス提供と297百万円の売り上げ獲得を目指す。
- ・営業力に劣る(株)ジウンにとって、業界経験が豊富で販売企画力の高いケイズヘルスケア(株)との連携は事業化への大きな推進力となる。

連携体の構成

事業推進体制

技術・評価支援

九州大学

販売支援

コニカミノルタグループ
他

金融支援

筑邦銀行
日本政策金融公庫

連携体の構成

企画開発・運用・事業統括

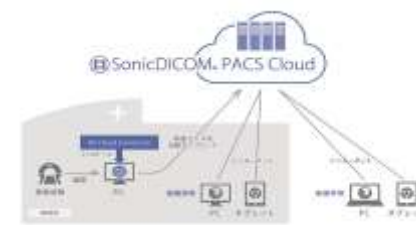
コア企業:(株)ジウン
(福岡県福岡市)
・システム開発
・プログラム設計
・商品サービスの開発
・サービスの運用

商品評価・マーケティング

ケイズヘルスケア(株)
(福岡県福岡市)
・マーケティング、営業
・市場情報の収集

事業の成果および今後の展開

- 本事業で開発した技術を基に、クラウド型医療画像管理システム『SonicDICOM PACS Cloud』のβ版を完成させ、現在、実証実験を行なっている。
 - 平成30年12月より世界6ヵ国(7リージョン)を拠点として全世界向けに第一段階のサービスの提供を開始する。サービス開始に先駆け、10月よりプレスリリースやWeb広告を配信した。
 - 新連携の認定を受けて、会社や製品の認知度が向上、既存製品への問い合わせ数も30%程増加した。また、今後の積極的な展開や開発スピードを上げるため、社員を新たに2名雇用した。
 - 今後の展開として、画像共有機能やAIによる画像診断機能を研究開発し、リリースしていく。またSDGsの目標達成に向けた取り組みとして、クラウド上に世界的規模のメディカルネットワークを形成し、国境を越えた医療連携を促進、医療格差の是正に貢献していく。
- 【補助金活用】新連携補助金(平成30年度)



【クラウド構成図】



【ビューア画面】

株式会社ジウン

代表者: 神田 文隆

住 所: 福岡県福岡市東区多の津1-14-1 FRCビル9F

電 話: 092-626-7002

URL: <https://www.jiun.co.jp>



スマートフォンと人工知能を活用した スポーツ大会運営サポートサービスの開発・事業化

認定
日

平成29年6月9日

事業分類

サービス

テーマ分類

IT

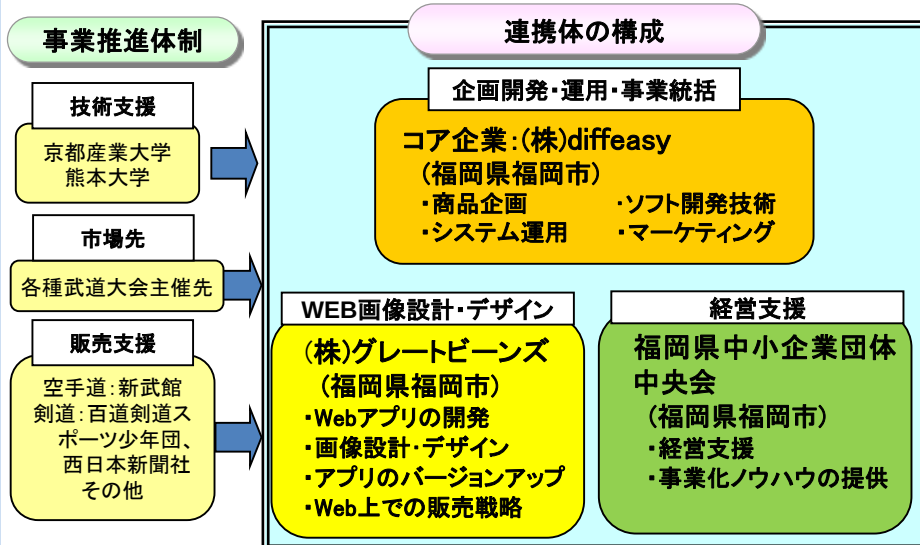
地域

福岡県福岡市

事業概要

- ・本事業では、空手道・剣道・柔道等の大会運営者向けに、パソコン・スマートフォンを活用した運営サポートするWebサービスを提供。
- ・空手道などスポーツ大会運営における作業は、殆どが手作業で行われており、大会運営者は1つの大会運営に平均200時間超の時間を費やしている。
- ・今回の事業で、スマートフォンと人工知能を活用したWebサービスを開発・事業化し、本サービスを利用することで、200時間超の作業時間を約100時間に短縮することが可能となる。

連携体の構成



事業の成果および今後の展開

- TV・新聞等に取り上げられ、本サービス「大会運営 向上心」を利用し、大会を開催したいとの問い合わせが全国から来るようになった。
 - FAXや紙での申込を行っていた団体に「Web申込」と「トーナメント自動作成」機能が評価され、導入も進み、現在約30,000名を超える選手データが蓄積されている。また、スポーツ大会関連のサービスを取り扱う企業との提携も検討している。
 - 平成31年から、毎年夏に開催されている玉竜旗、金鷲旗の大会エントリー受付、速報サービスなどを一挙に受け入れることが決定し、更なるバージョンアップも行っている。
 - 大会に出場した団体や選手に「リアルタイムトーナメント」が高評価。さらに、選手がそのURLをSNSなどで拡散する事例が増えており、今後、「スポーツ大会の応援＝「大会運営 向上心」」が浸透することで、スポーツ業界のさらなる活性化が期待できる。
- 【補助金活用】新連携補助金（平成30年度）



【導入風景①】



【導入風景②】

株式会社diffeasy

代表者：白石 憲正

住 所：福岡県福岡市博多区祇園町8-13
第一プリンスビル1F The Company

電 話：092-710-7216 URL：https://diffeasy.com/

2017年11月 福岡市ステップアップ助成事業 最優秀賞受賞



ポリエステルモノフィラメント製 亀甲網の用途拡大事業

認定
日

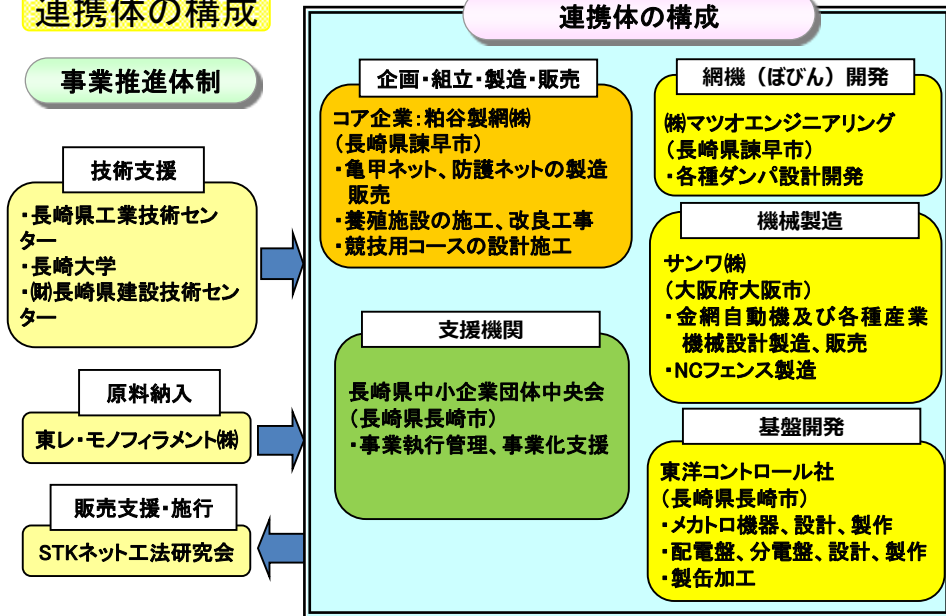
平成20年3月31日

事業分類	製造 (繊維・同製品)	テーマ分類	その他	地域	長崎県諫早市
------	----------------	-------	-----	----	--------

事業概要

- ・本事業は、コア企業粕谷製網(株)が製造する養殖生簀用のポリエステルモノフィラメント製亀甲網を陸上用建設資材として用途拡大を図る事業である。
- ・陸上への転用は、国交省宮崎河川国道事務所からの「錆びない網を」との要望をきっかけに落石防護網として陸上用網を開発したのが最初であり、現在、その事業化を進めている。
- ・また、落石防護網のほかフトン籠や小動物侵入防止網としての用途も出てきており、網の強度を増し、網幅を広くすることで作業効率を高め、更なる用途拡大が可能となる。
- ・当社亀甲網は、①耐腐食性、②耐破網性、③耐候性、④耐薬品性、⑤軽量、⑥有害物質の非排出といった特性があり、火山ガス、塩害にも強く公共工事を中心に市場性は高い。

連携体の構成



事業の成果および今後の展開

- 落石試験を行ったことで、そのデータを元に安全な設計ができるようになり、網(KIKKONET)の信頼性が高くなった。
- KIKKONETの編網機の改良を進め、品質を高めたことで平成23年に海外総代理店であるマカフェリへ新たな編網機を輸出した。(売上高1億1千万円)
- 平成22～23年にかけては、有明海赤潮対策として当社が開発した「浮沈式KIKKONET生簀」の需要が30万㎡程となったが、改良した編網機によって生産性が向上した為、納期短縮に成功、売上高7億円を計上することができた。(海上用は例年の4倍)
- 積極的な展示会への参加やパンプレットの配布、自社ホームページでの広報活動強化により認知度が上がり、鉄道・建築関連の注文も増えてきている。また、東北震災と熊本地震の復興にもKIKKONET製品が使用された。

【補助金活用】新連携補助金 (H20～21年度)
ものづくり補助金 (H24～25年度)



【熊本城石垣保護】



【福岡地震志賀島復旧工事】

粕谷製網株式会社

代表者：粕谷 正昭

電話：0957-22-0373

住所：長崎県諫早市川内町458番地

URL：kikkoneto@kasutani.com

2017年12月 地域未来牽引企業認定



閉鎖性水域の水質改善装置 (子水神：ネレード) の事業化

認定
日

平成28年6月10日

事業分類

建設

テーマ分類

環境

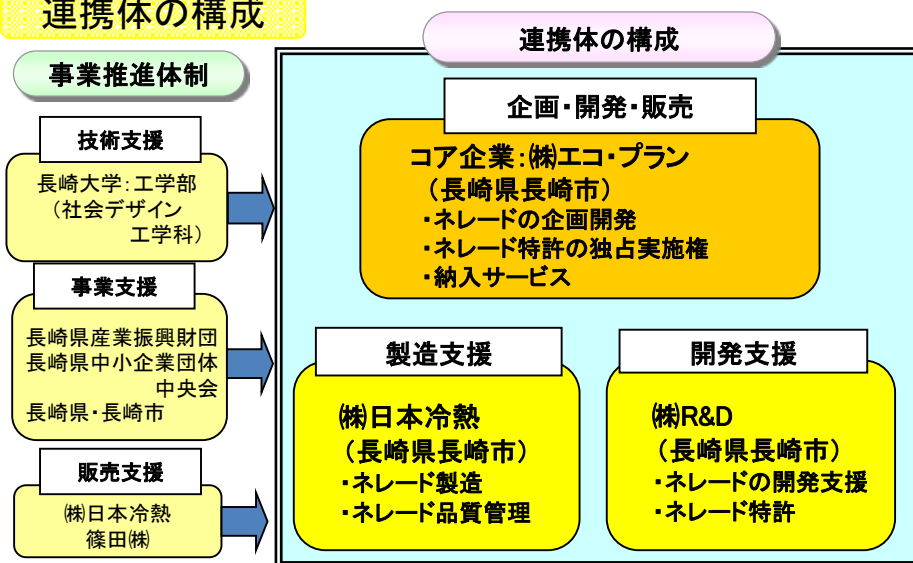
地域

長崎県長崎市

事業概要

- ・水道水源の50%近くを占めるダムや湖沼では、水の澱みによる底層域の酸素不足が要因となる藻や汚泥が生じ、これが原因で水道臭が発生する。この対策で閉鎖水域を循環させる装置を開発した。
- ・当社の水質改善装置（ネレード）は、正多角形配置の気泡上昇流により中央部に下降流を創出させ湖底に達した表層水は放射方向に拡散するので、1台で50万トン規模の循環を実現できる。
- ・従来品に対し初期導入コストを60%に、ランニングコストは40%まで低減でき、メンテナンスフリーを実現しており、潜在需要3,000台が想定される当該市場に対して、5年後に年40台4.8億円、累計で87台10億円以上を目指す。

連携体の構成



事業の成果および今後の展開

- 本装置は、平成25年度に開発し、これまでに水道水源に利用しているダムに2箇所、ゴルフ場に1箇所納入している。
- 平成28年度の新連携認定後、本装置の認知度向上の為、(一社)日本水道工業団体連合会が毎年各地で開催する「水道展」に出展するとともに、DMの送付等を行い、営業展開を本格化している。
- 本装置の価格が高価なことから、リース会社にリース物件として取り扱っていただくなどユーザーが導入しやすい環境整備も行ってきた。
- リース環境の整備や本装置の改良等行った結果、見積り依頼が増加しており、本年度中に1箇所納入を予定している。
- 今後も、水道分野だけでなく養殖場や公園などの修景池、ゴルフ場などに積極的な営業展開を実施していく。



【構造イメージ】



【福岡水道展】

株式会社エコ・プラン

代表者：原 純貴

電話：095-814-9330

住所：長崎県長崎市松原町2648-2

URL：<http://www.ecoplan-water.co.jp/>



火傷しない安全な石灰乾燥剤の金属除去による 「乾燥剤I・C-II」の量産化事業

認定
日

平成25年2月4日

事業分類 製造（窯業・土石）

テーマ分類

その他

地域

熊本県玉名市

事業概要

・石灰乾燥剤は理想的な乾燥剤として、広く利用されているが、水分を急に吸収すると急激に発熱（1分で300度に！）する危険性がある。また飲み込んだり、目に入ったりして、老人や子供の事故が発生していた。そこで2008年に発熱しない乾燥剤I・Cを開発したが、コスト高と金属含有量の課題が残っていた。

・本事業は、乾燥剤I・Cの新たな生産方式の導入により、製造工程を大幅に見直すとともに、原料段階と加工工程で金属異物を除去し、金属・非鉄金属の反応を少なくし、かつ、コストダウンを可能とした「乾燥剤I・C-II」の量産化事業である。

連携体の構成

事業推進体制

技術支援

熊本大学
産業美術センター

技術支援

日本マグネティックス

連携体の構成

企画・製造・販売

コア企業：(有)坂本石灰工業所
(熊本県玉名市)
・発熱しない石灰乾燥剤の製造技術
・発熱しない石灰乾燥剤の特許
・表面加工技術

原料の製造

薬仙石灰(株)
(山口県美祢市)
・石灰原料の製造、焼成技術、生産設備
・石灰の活性度の制御技術

事業の成果および今後の展開

- 開発した技術を基に、金属異物の除去に関して、原料加工の改良などの試作開発を3年間行った結果、金属・非鉄金属の反応を少なくした火傷しない「乾燥剤I・C-II」を完成させた。
 - 「乾燥剤I・C-II」をこれまで取引が無かった近畿エリアなどへ展開、継続的に受注を確保することができており、現在、年間総売上高2億円程計上している。
 - 海外市場へも積極的に販路開拓を行った結果、台湾企業向けの受注を獲得、社員を新たに2名雇用した。また、インドやアメリカなどの企業からも引き合いがあっており、新たな取引先の獲得が期待できる。
 - 石灰の温度コントロール技術がメディア、SNS等に取り上げられ、大学等と新たな商品に関する研究開発を進めていくことになった。
- 【補助金活用】新連携補助金（平成25～27年度）



【乾燥剤I・C-II】

	シリカゲル	石灰乾燥剤	乾燥剤I・C	乾燥剤I・C-II
吸湿性能(g)	1	5	2.7	3
安全性(発熱)	△	×	◎	◎
形状	球体粒	破砕粒	造粒粒	表面加工粒
金属反応	—	無し	有り	少ない
価格(円)	7	1.4	1.8	1.5

【乾燥剤の比較】

有限会社坂本石灰工業所

代表者：坂本 達宜

住所：熊本県玉名市下273-1

電話：0968-76-6165

URL：<http://sakamoto-lime.com>

2016年12月 優良100年企業表彰

2017年12月 地域未来牽引企業選定



特定保健指導実施率向上を目的とした 支援サービスの開発

認定
日

平成27年7月10日

事業分類

サービス
(保健衛生)

テーマ分類

健康・福祉

地域

熊本県熊本市

事業概要

- ・本事業では、健診機関（診療所等）が特定保健指導を効率よく実施できるよう、システムの提供と業務補助を組み合わせた支援サービスを開発し提供する。
- ・コア企業が有する特定保健指導に関するノウハウと、保健師・管理栄養士等の専門職職員を活用することで実現する。特定保健指導を支援するシステムはすでに市販されているものの、業務補助を組み合わせたサービスは見当たらない。
- ・(株)ワイズ・リーディングが有する販売網を活用し、当面、熊本県内を中心に、病院、診療所、健診センターなど（1,691カ所）へのサービス提供を図る。
- ・厚生労働省は、保険者努力支援制度などのインセンティブの取り組みにより、特定保健指導実施率の向上を強化することを目標としており、市場は広がりがつある。

連携体の構成

事業推進体制

技術支援

熊本大学
(医学部附属病院)

連携体の構成

企画・販売・サービス提供

コア企業：(株)くまもと健康支援研究所
(熊本県熊本市)

- ・医療保険者との契約実績
- ・保健師・管理栄養士等の専門職多数在籍

システム開発・保守

(株)ワイズ・リーディング
(熊本県熊本市)

- ・医療分野向けシステム開発の実績
- ・複数施設をネットワークで接続したシステムの運用実績

事業の成果および今後の展開

- 本事業で開発した人工知能を活用した特定保健指導面接支援システムを活用することで特定保健指導における各専門職の質の均一化や生産性が向上した。
- 過去10年間蓄積した支援内容を人工知能（学習機能）に反映させることで、より成果を導き出す健康目標立案等を本システムにてサポートすることが可能になり、より効率的で効果的な支援を実現した。
- 第3期特定健診・保健指導における制度改正により、継続支援などを一部外部委託することが可能になったことで、医療機関以外においても本システムの活用が見込まれ、市場の拡大が期待できる。
- 平成30年度における本システム関連の売上高は年間2,000万円程を見込んでいる。

【補助金活用】新連携補助金（平成27～28年度）



【システム画面】



【チラシ】

株式会社くまもと健康支援研究所

代表者：松尾 洋

住 所：熊本市東区神園2-1-1

電 話：096-349-7712

URL：http://www.kwsi.co.jp/

2017年12月 地域未来牽引企業選定、2017年はばたく中小企業・小規模事業者300社、第1回健康寿命をのぼそう！アワード優良賞等を受賞



多用途に使用できる「新型機能性液晶フィルム」の事業化

認定
日

平成23年2月2日

事業分類 製造（その他製造業）

テーマ分類

その他

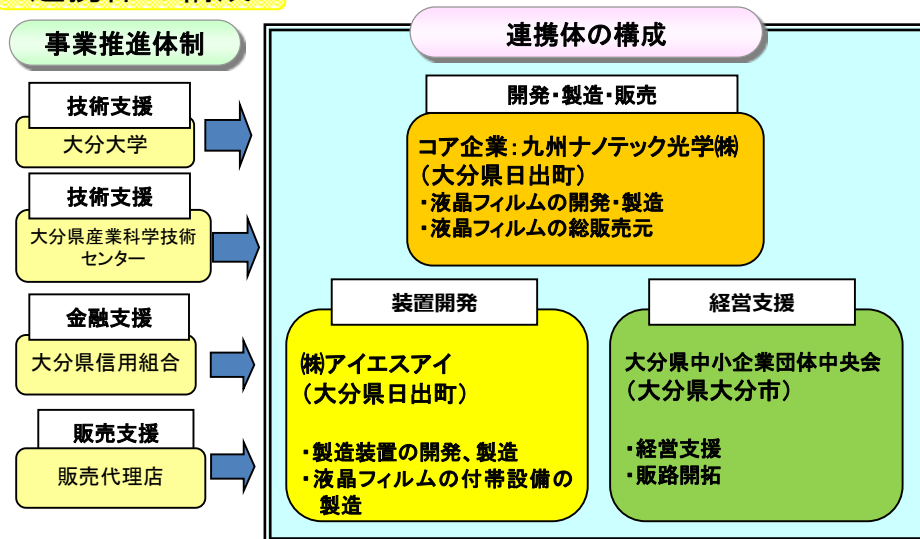
地域

大分県日出町

事業概要

- ・本事業では、電気（電圧）で透明な状態と白濁の状態を容易にコントロールすることができる世界最薄（120ミクロン）の新型機能性液晶フィルムの製造・販売を行う。
- ・九州ナノテック光学(株)が開発した新型機能性液晶フィルムは、全く新しい製造方法であるため、従来の合せガラスに加工しなければ長期間使用できなかった液晶フィルムを、シート単体で長期間使用し、後貼り施工をおこなうことが可能になった。
- ・また、市場からの要望が大きい大型化、カラー化、低電圧化へも対応でき、用途が格段に広がったことから、従来使用されてなかった新たな業界・分野・用途での市場創出を目指す。

連携体の構成



事業の成果および今後の展開

- 開発した液晶フィルムは、規模の大きな既存施設への後貼り施工が可能となった事で東京や福岡等での大型案件の受注につながった。
- 薄型・低電圧により、車両のウィンドウへの活用が可能となった。（中国向け車両や国内の限定車両への製品提供実績あり）
- 開発したフィルム製造技術を基に市場より要望が強かったON/OFFの作動が逆転した「リバースモード液晶フィルム」の開発に成功し、事業化を推進中である。
- 凸版印刷(株)とのフィルム事業の協業契約の締結を期に本社及び工場を移転、平成30年6月期において従業員14名を新たに雇用し、従業員数は25名となった。

【補助金活用】新連携補助金（平成23年度～26年度）
ものづくり補助金（平成24年度）

■リバースモード液晶フィルム(イメージ)



【OFF 透明】



【ON 白濁】

九州ナノテック光学株式会社

代表者：馬場 潤一

住 所：大分県速見郡日出町大字藤原2393

電 話：0977-72-3315

URL：http://www.kyunano.jp

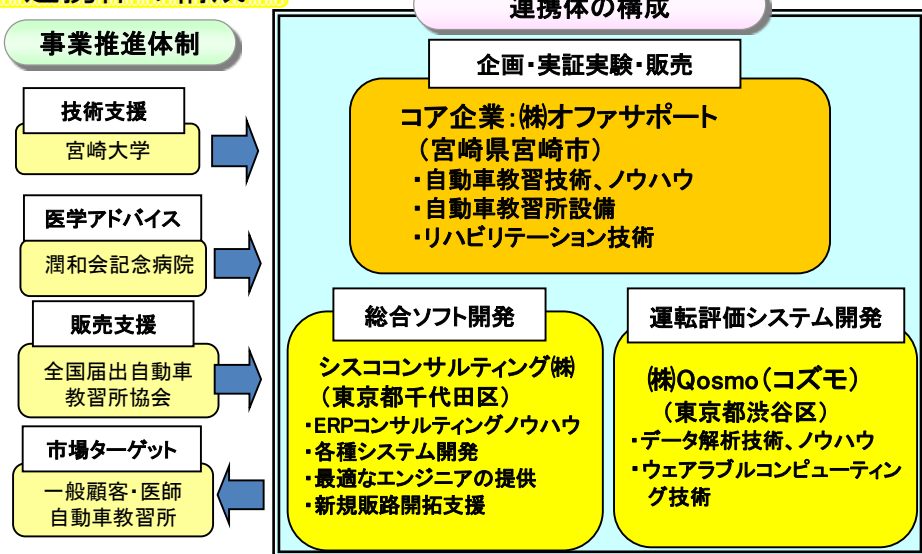


高齢者の自動車運転の正当評価を目指した「自動車運転評価サービス」の事業化				認定日	平成29年2月3日
事業分類	サービス	テーマ分類	その他	地域	宮崎県宮崎市

事業概要

- ・AI型自動車運転評価システムS.D.A.P (Smart Driving Assessments Program) を活用して、高齢者、特に認知症の疑いがある者及び、高次脳機能障害者等の実車時の自動車運転評価を行い、本人や関係医師等へ、その運転評価を提供するサービスの事業化である。
- ・①コア企業自身が実施する自動車運転評価サービスと②AI型自動車運転評価システムS.D.A.Pとメンテナンスサービスを提供し、他事業者が自動車運転評価サービスを行う2種類の事業からなる。
- ・道路交通法改正や高齢社会の進行により、評価サービスを必要とする人数を毎年約65,000人と推定している。又、システムの提供先としては自動車学校、教習所の1,420校がターゲットとなる。

連携体の構成



事業の成果および今後の展開

- 開発したS.D.A.P.プロトタイプ版を自社運用しながら、中小機構の地域活性化支援アドバイザー派遣を受け、センサー等の機器構成の見直し、データ管理プログラムの改良を行い、システムの簡略化、コストカット、利便性の向上を図った。
- 当初構想では運転技能評価結果の提示が主なサービス内容であったが、机上検査、身体測定等を組み合わせ複合的に分析することで、脳機能、身体機能、運転技能それぞれの課題個所を明確にし、個別に適切な運転トレーニングを行う内容に改良した。
- 上記サービス内容で体験会(3ヶ月間)を実施、県内の自動車学校へS.D.A.P.ベータ版を導入し運用検証中。(6校中3校済み)
- 国立長寿医療研究センター、(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所等とも協力しながら、新たな課題に対して、システム、サービス内容の改良を行っている。

【補助金活用】健康寿命延伸産業創出推進事業(平成29年度)



【サービス提供の様子】



【評価結果画面】

株式会社オファサポート

代表者: 服部 幸雄

電話: 0985-71-0006

2017年12月 地域未来牽引企業選定

2018年 3月 はばたく中小企業300社選定

住所: 宮崎県宮崎市大字島之内3535番地2

URL: <http://ofa-krsc.com/head/>



地元のお店でためしてから買える、人の絆とICTを融合した安心通販サービスの開発

認定日

平成27年8月28日

事業分類

小売

テーマ分類

IT

地域

鹿児島県鹿児島市

事業概要

・本事業では、シニア層市場向けの販路を求めるメーカーと、顧客の高齢化に伴って新商品を求める地域小売店、その顧客であるシニア層消費者をITでつなぐ、新たな流通の仕組みを構築する。ニーズがあってもよく知らない商品を量販店や通販では買わないシニア層消費者も、地域のなじみの店がコンシェルジュ的な役割を担うことで安心して消費行動を起こし、新たな需要が生まれる。

・そのようなシニア層の潜在市場を顕在化するために、メーカーと地域小売店が、SNSやTV電話でつながり、WEBや動画で情報を共有し、地域の店が保有するシニア層顧客1人1人の詳細な情報をもとに、ニーズにあった最適な商品を提案できるシステムを構築し、地域店向けのワンストップ支援サービスを提供することで、地域店の繁盛と地域活性化にもつながる。また、サービスの一つ「おためし商品レンタルサービス」により、消費者は購入前にためすことで、安心して購入を検討することができる。

連携体の構成

事業推進体制

商品提供

シニア層向け
製品メーカー

システム利用商品仕入れ

地域密着型の
小規模小売店

コンサルティング

億績経営理舎(株)

調整

鹿児島県よろず支援拠点

連携体の構成

プラットフォーム運営管理

コア企業：(株)南九州デジタル
(鹿児島県鹿児島市)

・プラットフォームの管理・運営
・販売・マーケティング
・小売店及びメーカー向けサポート
・卸売/小売/通販業の運営実績・ノウハウ
・メーカー、地域小売店とのパイプ、信用・関係性

システム開発

リソースアクティベーション(株)
(東京都新宿区)

・システム調査・設計
・システム開発プロジェクト管理
・アジャイル型開発におけるプロジェクト管理ノウハウ
・開発会社とのパイプ、SEとのコミュニケーションノウハウ

事業の成果および今後の展開

- 当事業の研究成果を地域電器店業界の中で高く評価され、地域電器店経営者が集まる会議や、メーカー、関連会社との連携も進んでいる。
 - 開発した「笑倍繁盛システム」の提供を含めた地域店支援サービスを開始し、現在、全国で50店舗を超える地域電器店が加入している。
 - 本システムを実践している会員店舗では、様々な経営指標が向上している事例が多数生まれており、共有することでノウハウが蓄積されている。
 - 実践している会員店舗が各地のテレビや新聞に次々と取り上げられ、話題となり知名度も上がってきている。
 - 地域店の力で地域を活性化するという点でも注目され、様々な企業や組織とのコラボレーションが進展中である。
- 【補助金活用】新連携補助金（平成27～28年度）



テレビの密着取材を受ける会員店



開発した笑倍繁盛システム

株式会社南九州デジタル

代表者：櫻木 伸一

電話：099-284-5880

住所：鹿児島県鹿児島市中山町6-2

URL：<https://www.mk-dig.com/>